

報道関係者各位

株式会社 BCN
 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-18-14 本郷ダイヤビル 6F
 TEL 03-4236-5200 FAX 03-3818-3006

本件に関するお問い合わせは下記にお願いします。
 BCN 田中繁廣
<http://ranking.computernews.com/>

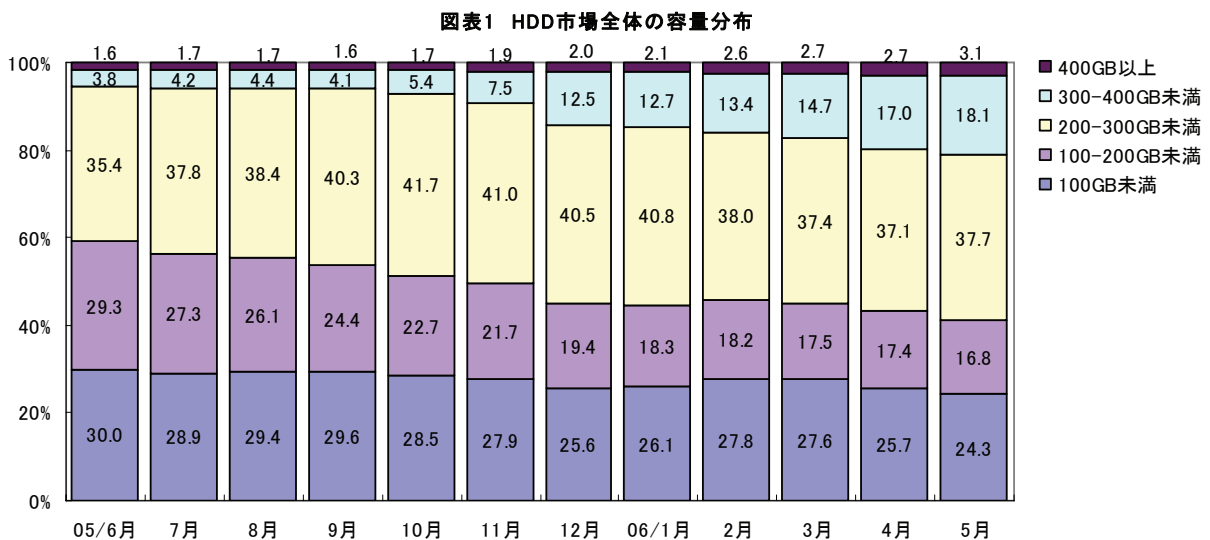
**HDD 市場、1GB 単価が断続的に下落しベアドライブは 50 円を割り込む
 台数シェアは 20%超のバッファローが 8 か月連続でトップを維持**

株式会社 BCN(本社:東京都文京区、代表取締役社長 奥田喜久男)は、BCN ランキングデータをもとにハードディスク(HDD)の販売動向を分析、この結果、容量アップと GB あたりの平均実売単価の下落が続いていることが分かった。BCN では HDD をアイテム別に①「ベアドライブ」②「外付け HDD」③「内蔵 HDD」に 3 分類しており、これらを合わせた HDD 全体の台数シェアでは、20%超のバッファローが 8 か月連続してトップを維持、日立製作所が追い上げる展開。1GB の平均単価では 5 月にベアドライブが 49 円とはじめて 50 円を割り込み、外付けタイプ(79 円)、内蔵タイプ(98 円)との差は大きい。

BCN は、全国のパソコン専門店、家電販売店 18 社(アロシステム、エイデン、大塚商会、ギガスケーズデンキ、グッドウィル、さくらや、上新電機、ソフマップ、ZOA、九十九電機、T・ZONE ストラテジィ、デオデオ、ニノミヤ、100 満ポルト、ビックカメラ、ピーシーデポコーポレーション、ベスト電器、ラオックス=50 音順)2189 店舗(2006 年 5 月末現在)の日々配信データをデイリーで収集し配信する BCN ランキングを公表しています。このデータをもとに、PC リテール市場の動向を分析したニュース配信を行っています。

HDD は PC の AV 化による旺盛な買い替え/買い増し需要によって、店頭市場での売れ行きは安定している。BCN ランキングをもとに HDD 全体(ベアドライブ+外付け HDD+内蔵 HDD の 3 アイテム)の容量推移をみると、年末年始商戦を境にして「100-200GB 未満」と「200-300GB 未満」の比率が縮小、代わってワランク上の「300-400GB 未満」が拡大し 5 月は 18.1%を占有するなど大容量化が顕著に現れている。HDD はかつて価格据え置きで容量だけは倍々ゲームで拡大するといわれてきたが、現在もその傾向に変化はなく、今後も容量アップが続くと見ていい(図表 1)。

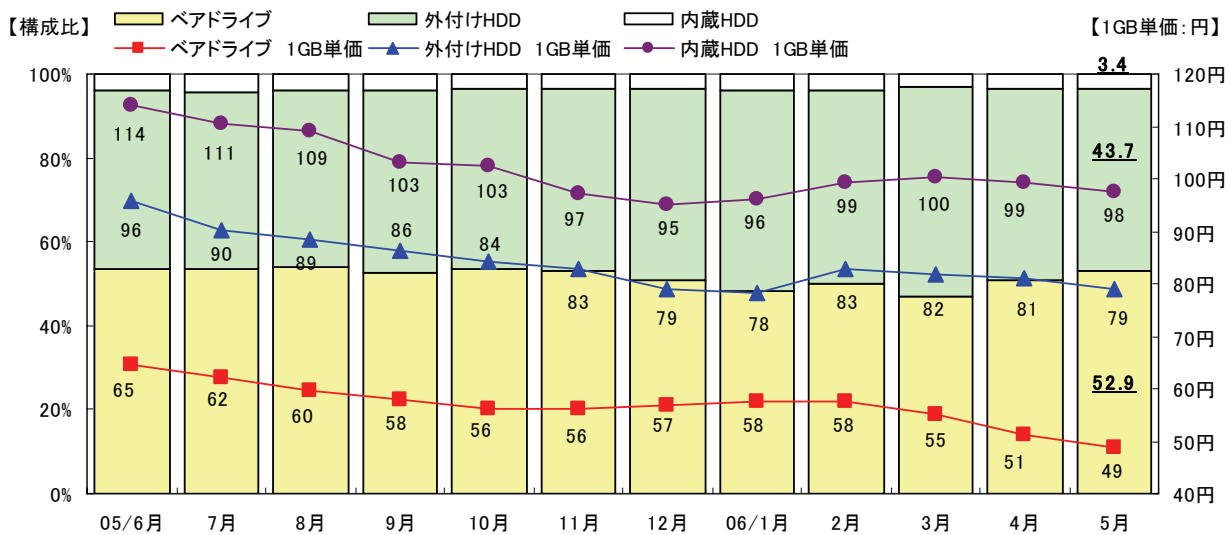
アイテム別の台数構成比率に大きな変化はない。5 月はベアドライブが 52.9%と半数以上を占有し、外付



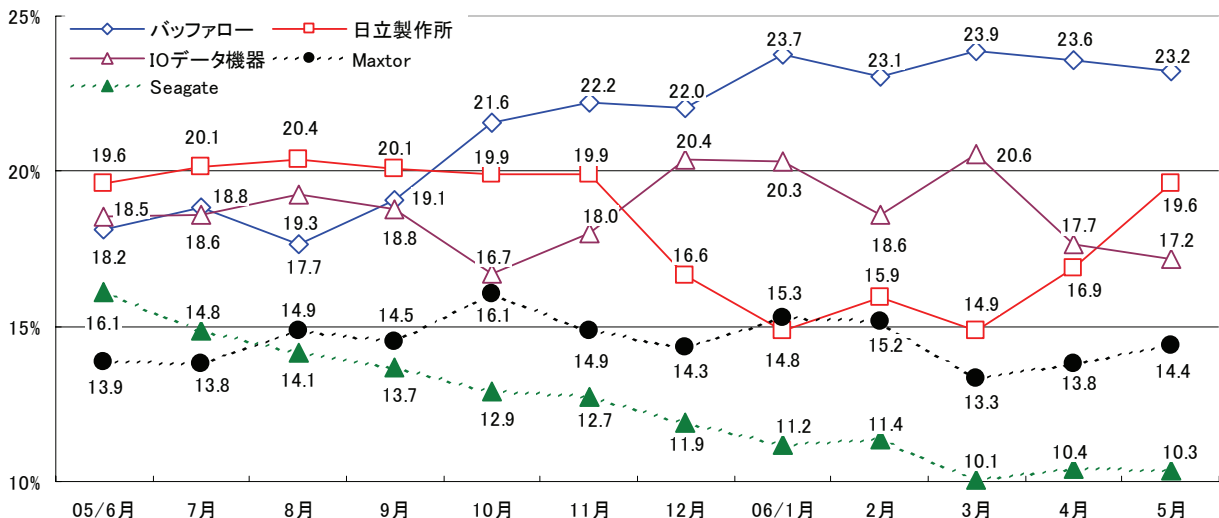
け HDD は 43.7%、内蔵 HDD が 3.4% の分布で、ベアドライブと外付け HDD が市場けん引役を担う。1GB あたりの平均実売単価は、いずれも断続的に下落。5 月はベアドライブがはじめて 50 円を割り込み 49 円、外付け HDD は 79 円、内蔵 HDD は 98 円に下げた(図表 2)。PC 本体内に組み込む IDE 接続のベアドライブと内蔵 HDD は真っ向から競合するため、廉価なベアドライブが需要の中核をなしている。一方、外付け HDD は SCSI 接続が主流であったが、最近では持ち運びのきく USB 接続タイプが人気を集める傾向にある。

HDD 市場全体でのサプライヤーは約 40 社。数社のドライブメーカーと、ドライブの供給を受けて HDD として提供するベンダーに分けることができ、シェアの争奪は激しいものがある。昨年秋口に日立製作所と立場を入れ替えてバッファローが急伸、8 か月連続でトップシェアを維持するほか、ここ数か月伸びを欠いた日立が回復へと転じ、5 月は 2 位に再浮上してきた。この 2 社に加えて I・O データ機器、Maxtor、Seagate を含めた 5 社の占有率は 8 割強で、HDD 市場は寡占市場が続いていることを示している(図表 3)。

図表2 アイテム別台数構成比率と1GB平均単価



図表3 ベンダーシェア推移



本リリースについて、今後メールでの配信をご希望の方がいらっしゃれば、対応させていただきます。
お名前・会社名をメールにてお知らせ下さい。

お問い合わせ先: release@bcn.co.jp